

『ものづくり都市・京都の発展に繋がる京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用案』の概要 ～ 世界をリードする新たなイノベーションの創出拠点をめざして ～

両施設敷地の可能性と活用の方向性

京都市としては、企業集積を促進するために活用できるまとまった土地が少ない「らくなん進都」において、企業集積をより一層促進するために両施設の敷地を活用したいと考えています。

同時に、国有地の有効活用であるため、国にとっても意義をもたらす活用が望ましいと考えます。

～敷地の可能性を考えるに当たっての背景と課題～

国の産業政策動向

① 「Society5.0」超スマート社会の実現

IoT, AI, ロボット, ビッグデータ等の技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れることで、国民生活をより便利で豊かなものにするを目指す。

② スタートアップ・エコシステム拠点都市の形成

産学公連携により、起業環境を集中的に整備する。

③ 日本の国際競争力やプレゼンスの向上

京都・らくなん進都の強み

- ① 京都には「Society5.0」の実現に必要なロボット, IoTに関する先端企業（電子, 機械, センサー等）が集積
- ② 京都は38の大学が立地する大学のまち。先端産業をリードする創造的な人材を育成・輩出する大学も多数立地。京都大学をはじめとするAI等の研究拠点もある。
- ③ 「らくなん進都」には、産学公連携による研究開発拠点「京都市成長産業創造センター」（ACT京都）が立地
- ④ 「らくなん進都」は、京都駅や他の拠点からのアクセスが非常に良好

らくなん進都の課題

- ① 企業集積は着実に進展しているが、更なる集積を促進するためのまとまった土地が少ない。
- ② 優れた立地特性を活かした広域連携や、「らくなん進都」としての情報発信力が弱く、地域ブランドイメージの認知度の向上が必要

～ 両施設敷地の可能性 ～

両施設の敷地は、交通利便性の高い市街地にあり、京都・らくなん進都の強みを最大限に活かしながら活用することで、世界をリードする新たなイノベーションを創出する重要な拠点となり、京都産業の振興のみならず、我が国の産業振興にとっても、重要な意義をもたらす拠点となる可能性を秘めている。

活用の方向性・望ましい導入機能

ものづくり企業の事業拡大の受け皿となる機能

ものづくり企業の事業拡大の受け皿を提供し、らくなん進都内での企業の成長の加速を図る

企業立地の決め手となる付加価値・魅力を創造する機能

国の研究機関や特色ある研究施設の誘致、働きやすい環境の充実等で企業立地の魅力を創造

らくなん進都のイメージを発信するシンボリックな企業の誘致

先端技術等を有するものづくり企業の集積を促進するシンボリックな企業誘致を図り、らくなん進都のまちづくりを牽引

企業のイノベーションによる成長をサポートする機能

高い技術を有する多様な企業が交流を通じて新たなイノベーションを起こす産業交流機能や、スタートアップ企業を育成するインキュベーション施設の導入等により、企業の成長をサポート

ものづくり都市・京都の発展に繋がる両施設敷地の活用例 (活用の方向性・導入機能と誘致候補施設の展開例)

～ 活用の視点 ～

- ① 両敷地の有効活用が、「らくなん進都」のまちづくりを加速させる強力なエンジン・起爆剤となるよう、「ものづくり都市・京都」の次代の中核を担う企業のニーズに対応しうる産業用地としての活用が望ましい。
- ② また、敷地のポテンシャルを最大限に活かすため、民間による活用を基本とする。
- ③ ソフト機能として、海外への販路開拓支援や高度な人材の育成機能、多言語による情報発信機能も導入することが望ましい。
- ④ 避難所機能など、地域の安心安全を向上させる機能も兼ね備える。



～ 活用の方向性と誘致候補施設の想定例 ～

敷地活用の方向性	誘致候補施設の想定例
ものづくり企業の事業拡大の受け皿となる機能	・ らくなん進都内外の企業の新規拠点（オフィス、本社機能など） ・ 融資などの支援を受けられるインキュベーション施設 ・ 試作開発機器や3Dプリンター等を備えた製造業向けコワーキングスペース
企業立地の決め手となる付加価値・魅力を創造する機能	・ 国の研究機関、特色ある民間研究施設 ・ レンタルラボ
らくなん進都のイメージを発信するシンボリックな企業の誘致	・ 京都、近畿、日本に新たな知とノウハウをもたらす内外企業（AI, IoT, ビッグデータ, ロボット等の分野で活躍する企業） ・ らくなん進都内外の企業の新規拠点（オフィス、本社機能など） ・ インキュベーション運営や投資ノウハウ等を有する海外のインキュベーション施設 ・ コワーキングオフィス等
企業のイノベーションによる成長をサポートする機能	・ 学会等の研究会や、企業の新製品発表・プレスリリース、セミナー等が行われている産業交流施設 ・ インキュベーション施設やコワーキングオフィス ・ 大学発ベンチャー等のスタートアップを支援する企業

こうした有効活用により、持続可能な社会を目指す世界共通目標「SDGs」の実現にも繋げてまいります。